

佐世保近郊

県北 対馬 壱岐 五島

佐世保支社 (0956)22-9145
松浦・江迎支局 (0956)72-0539
東彼支局 (0956)82-1500 (00)

フードバンクの法人設立

食品卸の協和商工



「もったいない食材」を生かし、子どもたちにおいしく食べてもらいたいと語る加城理事長
|| 佐世保市、協和商工

フードバンク事業として子ども食堂などに提供される食材の一例
= 佐世保市、協和商工



食品卸の地場大手、協和商工(佐世保市、加城一成社長)は23日、余剰食品を必要の人に提供するフードバンクに取り組むため「一般社団法人フードバンク協和」を設立したと発表した。子ども食堂や児童養護施設などを対象に、4月1日から活動を始める。

県内でフードバンクに務め、仕入取り組む法人は2件目。先などからの寄付で運営する。業務用食材問屋を展開

する同社では、取引先のメニュー変更や試食会などで余り、在庫となったままの「もったいない食材」が、年間で約500万円分(仕入れ値)廃棄されているという。これらの食材を子どもに関する団体・施設に無償提供することで、子どもの健全育成や食育に活用して

子ども食堂、児童養護施設対象 4月1日から

もろう考え。3月に発足する「長崎子ども食堂ネットワーク」とも連携する。

専用ホームページを作成し、食材名、在庫数、アレルギー成分、管理栄養士が考案したレシピを記載。事前にIDとパスワードを発行された提供先の団体のみが閲覧、注文できる仕組みで、食材は配達でなく同社で受け取る。

事業は、4月1日から佐世保支店で始め、長崎、佐賀支店へと拡大する。ゆくゆくは全国の同業者にホームページを活用してもらい、全国規模のフードバンクへ発展させたい考え。

この日、同市白岳町の同社であった会見で、加城理事長は「本業を最大限に生かせる社会貢献。誇りと使命感をもってやっていきたい」と意気込んだ。(永江倫子)